

スポーツ振興大賞

NPO法人ツール・ド・おきなわ協会（沖縄県名護市）

ツール・ド・おきなわ

熱帯の花となれ風となれ

主催：NPO法人ツール・ド・おきなわ協会、
北部広域市町村圏事務組合、（公財）日本自転車競技連盟
<http://www.tour-de-okinawa.jp/>

NPO法人ツール・ド・おきなわ協会の目的は、大会を通して自転車競技の発展と普及推進及びサイクリススポーツの普及により、そのフィールドである沖縄県の地域振興に寄与することである。今年で第28回目を迎え参加者も増加傾向にあり、特に近年は海外からの参加者が増加していることからインバウンドにおいても一躍貢献しているといえる。自転車を活用することでの地域活性化と人材育成を視野に入れ、「サイクル・ツーリズム」の構築に力を注いでいる。具体的には市町村の行政をはじめ、観光協会、NPO法人（ツーリズム関連）と連携して、今後自走していけるような体制作りをサポート。民泊の際のアクティビティとしての活用や地元ガイドを育成していくなど、地域活性にも波及できるような仕組みづくりを提案中。モデルケースとして既に数か所は実証済みで今後の活用が期待される。その他、子供向けの「自転車安全教室」や、道路清掃を行いながらの「クリーンサイクリング」など、地域と連携して自転車活用の可能性を模索しながら、更なる発展を目指すものとする。



電話：0980-54-3174 メール：info@tour-de-okinawa.jp
担当者：宮里武志

スポーツ庁長官賞

TOGA天空トレイル大会実行委員会(富山県南砺市利賀村)

TOGA天空トレイルラン

ようこそ、利賀のおもてなしへ

主催：TOGA天空トレイル大会実行委員会

共催：北日本新聞・利賀地域自治振興会

<http://togatenkutrail.com/>

地域にある自然を資源に活用できるスポーツと観光を組み合わせた誘客活動を推進、スポーツツーリズムにおける観光プランディングを形成したいと考え、2014に第1回TOGA 天空トレイルランを開催した。南砺市利賀村の強みは「おもてなしの心」である。便利な都市部に住む人たちが恋しがる田舎風情や人のもてなし、ぬくもりが元来あります。これを活かし「参加型の楽しめるイベント」を実現し、住民の温かさを求めにやってくる真のリピーターづくりをスポーツを通じて促進している。

レース参加者と地元住民との交流会やレース翌日のオプションツアーを開催し、利賀の特産である岩魚・利賀そばや旬の山菜を使ったメニューを提供して利賀を心ゆくまで味わうことができる。

当日の宿泊における経済効果はもちろんのこと、第1回大会以降、中京方面からコースをトレッキングとして使用するツアーなども実施され、年間通して身近な森林の観光資源化に今後、期待が持てる。



電話：0763-68-2111 (南砺市利賀行政センター) メール：info@togatenkutrail.com

担当者：南田哲幸

観光庁長官賞

一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバル(宮城県登米市)

東北風土マラソン&フェスティバル

ランナーも、ランナーじゃなくても楽しいお祭りマラソン

主催：東北風土マラソン&フェスティバル実行委員会

共催：登米市、南三陸町、登米市教育委員会、一般社団法人登米市観光物産協会、登米市観光推進協議会

<http://tohokumarathon.com/>

東北風土マラソン&フェスティバルは2014年より毎年4月後半の土日2日間をかけて宮城県登米市にて開催しているイベント。「ファンラン」で世界的に有名なフランスのメドックマラソンと世界で唯一提携しているマラソン大会である。春の東北の美しい風景の中、コース上10箇所のエイドステーションで提供される20種類以上の東北各地の名産品を一口ずつ食しながら、「風土」と「Food(フード)」を楽しむユニークな大会である。参加ランナーは2014年1,300人、2015年3,000人、2016年4,300人と、毎年順調に増加している。

今後もこの成長を続け、2020年のオリンピックイヤーまでにはランナー10,000人を超える大会になるべく、質と量の両面で改善を続けていく予定。「マラソン」と「フェスティバル」同時開催でスポーツ振興と地域経済振興の両立させる仕組みを東北の地域にも展開しながら、東北地方ひいては日本全体の地域活性化のモデルとなることも目指す。



電話：090-9968-6526

メール：ttaketakekawa@gmail.com

担当者：竹川隆司

経済産業省商務情報政策局長賞

東尋坊愛のマラニック実行委員会(福井県坂井市) 東尋坊愛のマラニック大会 103kmの部／52kmの部

日本海の奇勝 東尋坊の岩場から 東尋坊僧生誕の地 神秘のパワースポット平泉寺を巡る

主催：東尋坊愛のマラニック実行委員会 共催：東尋坊観光協会

<http://yypark.com/tojinbo100km/>

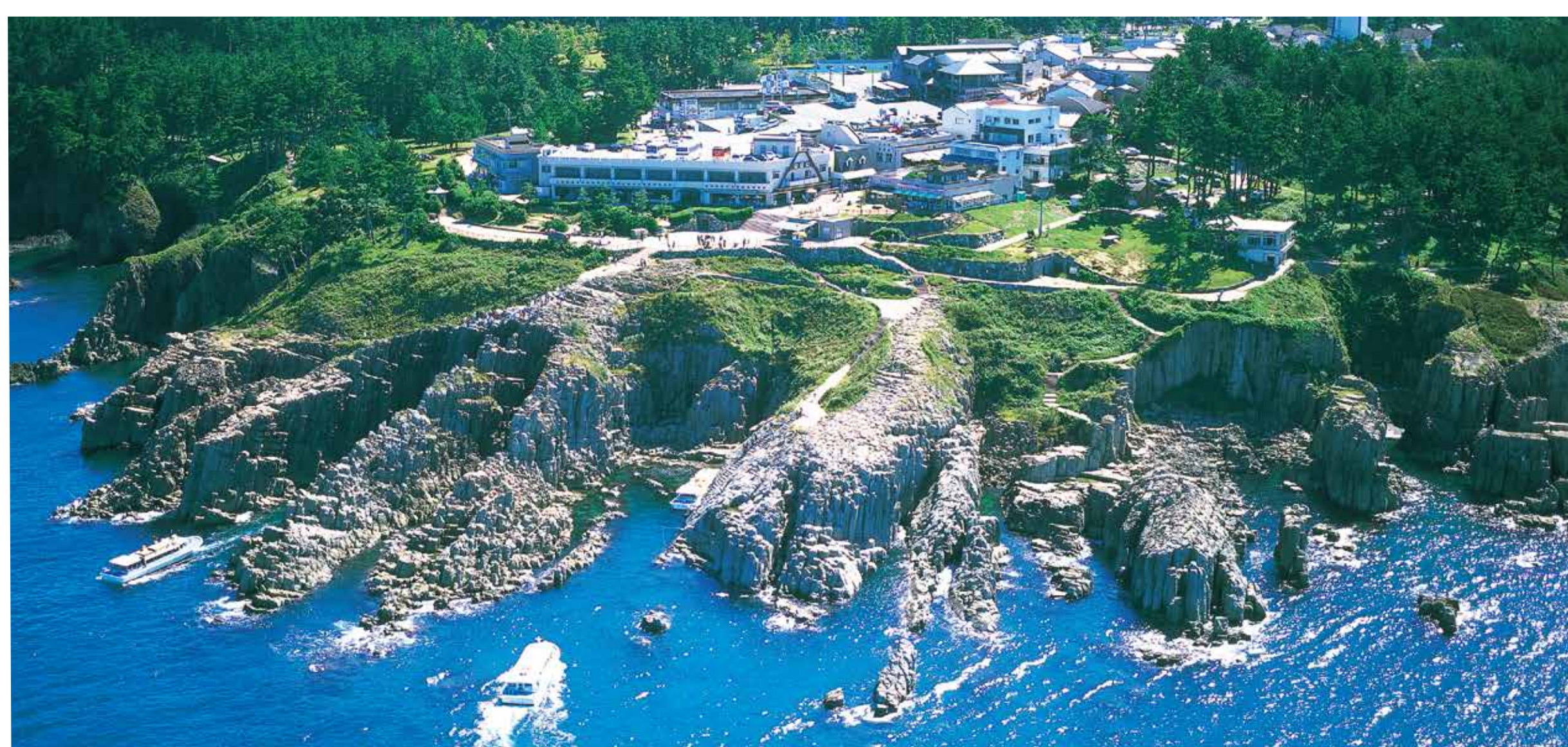
東尋坊のイメージアップ作戦の一つとして、2012年から東尋坊と綾姫の恋物語を広めるために東尋坊愛のマラニックを開催する。東尋坊を5:00にスタートし、東尋坊生誕地平泉寺を折り返し、東尋坊へ戻ってくる103kmの部と、平泉寺を9:00にスタートし東尋坊にゴールする52kmの部がある。いずれもゴール関門は20:00。愛のマラニックはとことん愛に拘る大会だ。

マラニックはスタート時間が早いため、数泊するランナーが殆どである。しかも日本全国から福井へ来て、走って観光する。さらに彼らが福井の良さをPRしてくれて、「東尋坊愛のマラニックはいいわ。来年は一緒に走ろうよ」と仲間を増やしてくれる。上質のマラニックを提供すれば必ずリピーターが増えて福井へ旅行で訪れる人も多くなる。東尋坊愛のマラニックはデスティネーションマラソンであると言える。

マラニックがきっかけとなり毎年福井へ家族旅行するようになるランナー。

民泊先の家族との交流を続けるランナー。

エイドで提供した郷土料理を注文するランナー。福井が大好きな人を増やしていきたい。そして、福井の認知度を高め地域振興に貢献していきたいと考えている。



電話：080-4632-9430 メール：kf.nishide@gmail.com
担当者：西出憲榮

日本商工会議所奨励賞

株式会社モンベル(大阪府大阪市)

SEA TO SUMMIT

環境スポーツイベント

主催：SEA TO SUMMIT実行委員会

<http://www.seatosummit.jp>

スポーツ好きの人が楽しめるだけではなく、自然とふれあい、環境について考え、自分たちを取り巻く自然環境を再認識するための「環境スポーツイベント」を2009年より開催した。

昨年までの大会回数は 28 回にのぼり、参加人数も 4,000名を超えている。2010年には韓国より30名、2015年の皆生・大山大会には、アウトドアスポーツ好きで知られているアメリカのケネディ駐日大使が家族と共に参加された。2017年にアメリカのオレゴン州のセーラム市で開催したいということで、セーラム市長が視察に訪れたり日本の自然の魅力を世界に発信しつつ、「SEA TO SUMMIT」が世界へ広がっていると言える。

人力のアウトドアスポーツを生かしたスローでエコな旅は地域の自然や文化を肌で感じるのに最適である。旅行者と地域との関係を親密なものにし、リピーターの獲得や口コミ効果によるさらなる観光振興も期待できる。



電話：06-6531-5524 メール：seatosummit@montbell.com
担当者：広報部 佐藤和志

日本スポーツツーリズム推進機構会長賞

一般社団法人志摩スポーツコミッション(三重県志摩市)

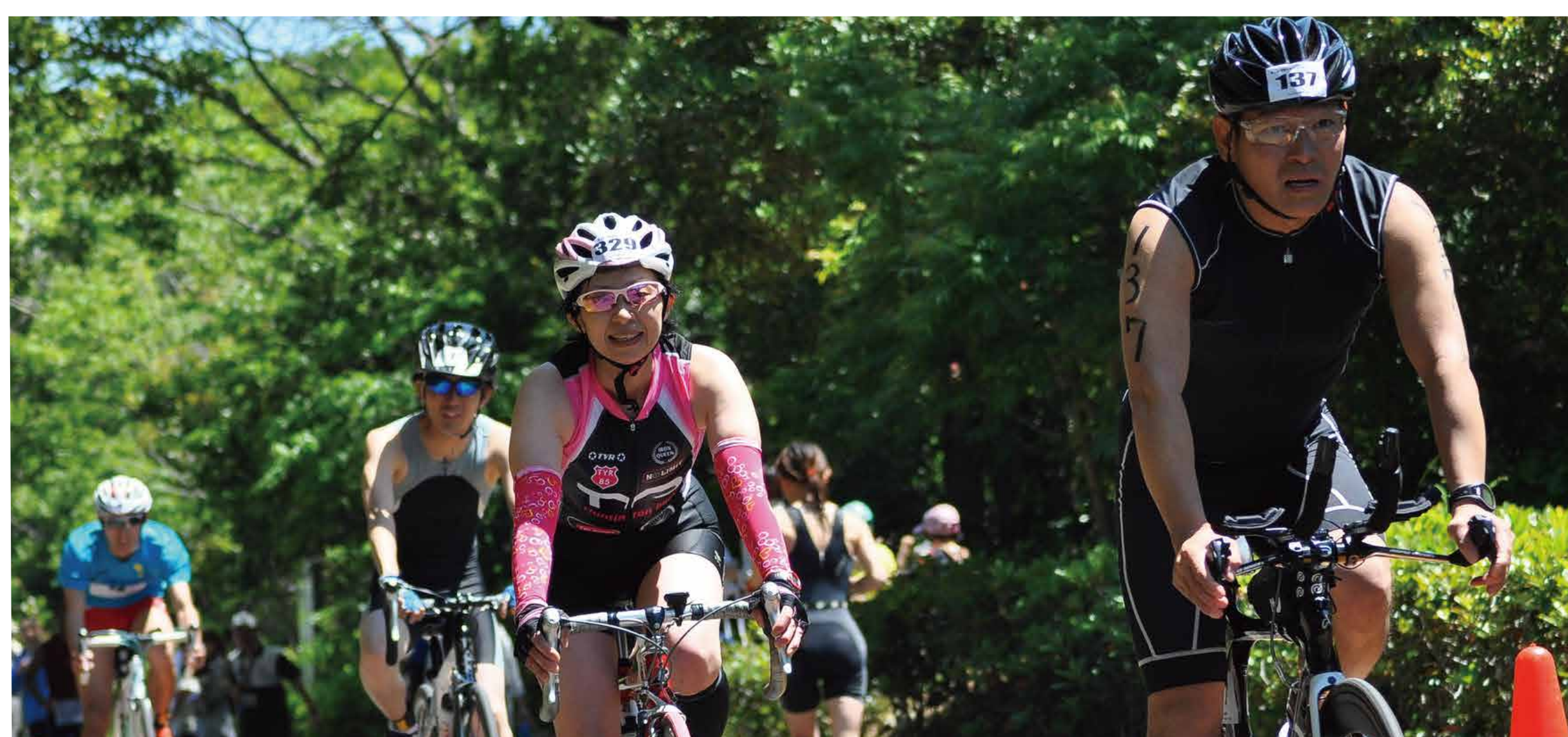
伊勢志摩・里海トライアスロン

主催：伊勢志摩・里海トライアスロン大会実行委員会

<http://shima-tri.com/index.html>

伊勢志摩地域は、伊勢神宮があり観光地として発展を遂げてきた。御食国として、美味しいものがたくさんとれる土地でもある。志摩市は、4月に「スポーツ観光都市宣言」を発表し、スポーツと観光が融合したスポーツツーリズムで、全市民が一丸となって推進し、観光のまちづくりを実現すべく、取り組みの強化が進んでいる。「伊勢志摩・里海トライアスロン大会」は、地元自治会、住民、小・中学生にご協力をいただき、地元住民が一つになって進めていく事業である。

本大会は、健康増進と青少年の健全育成、並びに伊勢志摩地域の活性化を目的としたトライアスロン競技大会。平成25年に発足し、これまで3回開催。スイムは、真珠養殖発祥の地である英虞湾に面した「大矢浜海水浴場」を泳ぐ1500m、バイクはアップダウンとコーナーが連続する変化に富んだ40km、そして情緒溢れるビン玉ロードを走る10kmのラン、合計51.5kmと、トライアスロンリレー部門(3名1組)、で開催している。参加者は592名、ボランティア250名。2021年の三重国体でのトライアスロン競技の誘致や、東京オリンピック、三重国体での合宿地としてトライアスロンの普及を目的としている。今後は、年間を通じて合宿地としても発展させていくことで、全国・世界へと志摩市を広めていくことができる。



電話：0599-44-4450

メール：nakabayashi.n@shima-sc.or.jp

担当者：中林伸子

スポーツ健康産業団体連合会会長賞

NPO法人北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ(北海道札幌市)

北海道バーバリアンズ

夢は想えば必ず叶う

主催：認定 特定非営利活動法人北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ

<http://www.hokkaido-barbarians.com/>

1975年より「北海道におけるスポーツの普及と振興」を目的に、地域に密着した活動を行っている。「グラウンドを軸にした地域との連携」、「スポーツの普及・育成・強化」、「交流人口の拡大」という3つの観点からクラブ運営を行う。リオ五輪出場を決めた7人制男子(ラグビー)日本代表のロテ・テウキリは昨年度までバーバリアンズの所属選手である。道内外からスポーツ合宿を誘致し、競技力の向上を図るだけでなく、近隣温泉街の活性化や地域住民との交流も進めている。合宿以外にも2012年から全国的な大会を企画・運営しており、2015年の第4回大会には全国から男子18チーム・女子9チームの計27チームが国内外から参加。7人制日本代表の強化合宿、大学・高校の合宿、大会などを合わせると年間で1,000名以上の方がグラウンドを訪れている。今後は“定山溪スポーツパークタウン”の実現に向けた取り組みを進めていきます。具体的には定山溪スノーファンタジーの常設、「雪遊びゾーン」や雪まつりを企画するなど温泉街と連携し、観光客の増加を図ります。クラブ理念にあるように「すべてに対して正直たれ」のクラブ倫理を持ち、「楽しむ」ことを忘れず、「夢を追いつける」エネルギーを持ち、地域に密着した「クラブライフの創造」を目指す。



電話：011-631-3125 メール：info@hokkaido-barbarians.com

担当者：渉外担当理事 山田修平